

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 新型コロナワクチン個別接種促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部感染症対策推進課

電話番号：058-272-1111(内9332)

総務係

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,590,760 千円 (前年度予算額： 1,766,361 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金負担金	使用料手数料	財産収入	寄附金	その他	県債	一般財源
前年度	1,766,361	1,766,361	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,590,760	1,590,760	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

新型コロナウイルス感染症の感染対策として、ワクチン接種を希望するすべての県民にワクチン接種を迅速・円滑に進めることが重要である。そのためには、接種回数や接種施設数を十分確保することが必要であり、一定回数以上の個別接種を行う医療機関を支援することにより、接種体制の構築を図る。

(2) 事業内容

医療機関1施設当たりの接種回数を増加させるため、一定期間継続して100回又は150回以上の個別接種を行う診療所に交付金を交付するとともに、接種施設数を増加させるため、1日に50回以上のまとまった規模の個別接種を行った医療機関に交付金を交付する。

【交付金額】

- ①診療所において、100回/週以上の個別接種を4週間以上行った場合
2,000円/回
- ②診療所において、150回/週以上の個別接種を4週間以上行った場合
3,000円/回
- ③診療所が50回/日以上個別接種を行った場合
10万円/日(定額) ※①、②の対象となる場合は支給しない
- ④病院において、自院で50回/日以上個別接種を、週1日以上・4週間以上継続して行った場合
・医師 7,550円/人・時間、看護師等 2,760円/人・時間

【交付要件】

- ①②の要件：それぞれの一週間のうち少なくとも一日は時間外、夜間又は休日に接種体制を用意していること。
- ③の要件：その日において、時間外、夜間又は休日に接種体制を用意していること。
- ④の要件：通常診療とは別に、接種のための特別な人員体制を確保した場合。

(3) 県負担・補助率の考え方

国10 / 10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	1,584	消耗品費（コピー代等）
役員費	1,087	携帯電話代、郵便代
委託料	30,699	コールセンター委託料
交付金	1,557,390	医療機関への交付金
合計	1,590,760	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・新型コロナウイルス感染症「緊急事態」総合対策
- ・「ウィズ・コロナ」総合対策
- ・岐阜県BA.5対策強化宣言

(2) 後年度の財政負担

今後の感染状況や国の動向を踏まえ判断する。

(3) 事業主体及びその妥当性

医療機関を支援することによって、市町村の予防接種を強力に支援していくことになるため、妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
ワクチン接種を希望する人へのワクチン接種を促進するため、接種回数の増加と接種施設数の増加を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

医療機関の予防接種を支援していく事業であり、指標化はそぐわない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和 3 年度	<p>新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、個別接種を実施する医療機関を支援することによりワクチン接種を加速することができた。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 2	ワクチン接種に係る個別接種の回数や個別接種を行う施設数を増やすことは重要な課題であり、本事業により県が医療機関を支援することで、ワクチン接種の促進を図ることができるため必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 なし

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後の感染状況や国の動向を踏まえ判断する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	